

授業科目名	野外教育論特講演習	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	坂口 俊哉			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	野外教育の中でのアクティビティとして取り上げられる様々なアウトドア・スポーツに焦点を当てた人文・社会科学系の研究トピックについて紹介する。 文化・経済・環境・ツーリズムなど様々な研究トピックを取り上げる。また、各国の統計調査、白書データと二次データの収集と分析について紹介する。 授業の後半では野外教育の成果を評価する方法について実践的作業を行う。				
成績評価の方法	最終プレゼンテーション(20%) 授業への取り組み状況(40%) レポート等の提出状況(40%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	授業での発表内容、配布資料の作成内容などについて総合的に評価する。				
テキスト・教材 参考書	必要に応じてプリントを配布する。				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	随時。事前にメールでアポイントを取ることをお勧めします。 E-mail:tsakaguc@nifs-k.ac.jp				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	坂口 俊哉	ガイダンス		アウトドア・スポーツ、レジャー、レクリエーション関連雑誌のタイトルを確認。リストを作成して提出。(60分)	
2	"	アウトドア・スポーツ、レジャー、レクリエーション関連ジャーナルの論文収集		担当分野の論文収集、情報共有作業(60分)	
3	"	文献抄読		担当者発表 発表準備作業(120分)	
4	"	文献抄読		担当者発表 発表準備作業(120分)	
5	"	文献抄読		担当者発表 発表準備作業(120分)	
6	"	文献抄読		担当者発表 発表準備作業(120分)	
7	"	文献抄読		担当者発表 発表準備作業(120分)	
8	"	レジャー・レクリエーション研究の目的と方法 目的とデータ収集		レジャー・レクリエーション研究の目的を、指定されたキーワードに基づいてヒットした研究について整理する(120分)	
9	"	レジャー・レクリエーション研究の目的と方法 データの収集と分析手法		レジャー・レクリエーション研究のデータ収集方法を、指定されたキーワードに基づいてヒットした研究について整理する(120分)	
10	"	レジャー・レクリエーション研究の目的と方法 分析結果の示し方		レジャー・レクリエーション研究の分析方法を、指定されたキーワードに基づいてヒットした研究について整理する(120分)	
11	"	レジャー・レクリエーションの企画と実践		組織化されたレジャー・レクリエーションプログラムやサービスについて詳細な情報を収集すること(60分)	
12	"	野外教育の企画と実践		組織化されたレジャー・レクリエーションプログラムやサービスについて詳細な情報を収集すること(60分)	
13	"	野外教育の企画と実践		組織化されたレジャー・レクリエーションプログラムやサービスについて詳細な情報を収集すること(60分)	
14	"	野外教育の企画と実践		組織化されたレジャー・レクリエーションプログラムやサービスについて詳細な情報を収集すること(60分)	
15	"	野外教育の企画と実践		組織化されたレジャー・レクリエーションプログラムやサービスについて詳細な情報を収集すること(60分)	
16	"	実践例の評価レポートとプレゼンテーション		ツーリズムの視点から、大隅地域のレジャー・レクリエーション・プログラムのSWOT分析を行い、その結果をプレゼンテーションする準備を行うこと(120分)	